

# BRAVO!! TSUSHIMA

ワールド  
だぜえ〜

～インターナショナル座談会 in 寿福院～



とある夕暮れ、お寺の本堂に、何やら楽しそうな話し声が響いています。ここに集まった5人の共通点は、対馬出身者ではないということ。そして、対馬暮らしをとでも楽しんでいるということ。はてさて、どんな話が飛び出すのでしょうか...？ 今回の「next door」は、“よその目”から見た対馬の魅力、対馬の可能性を再発見します。

皆さんが感じる対馬の魅力は？

周<sup>シマ</sup>

対馬に来てまだ3ヶ月ですが、もうここに何年も住んでいるような気持ちです。最初に感動したのは対馬の人たちの心が優しいこと。そして、空気が新鮮で自然がきれいなこと。上海ではきれいな海を見ることができませんが、対馬では毎日見れる！なんて幸せなんだろうって思います。

村田

やはり自然が多く、山も海もあるというのが魅力ですね。砲台跡など史跡が数多く残っているのも魅力だし、斬新だと思っています。

大西

村田さんがおっしゃったように、歴史が目にえるのは素晴らしいですね。対馬には神様や仏様を大事にする伝統があります。子どもたちは「かんかんさん」と呼び、仏様や墓参りを大事にしてきました。地藏盆や赤米神事などは、続いている形の中に、日本人が古くから大切に繋いできた素朴な信仰心が残っているのがいいですね。

朴<sup>ハク</sup>

自然の豊かさがやはり対馬の一番の魅力です。ジョギングが趣味なんです。雑知から竹敷方面が特に気に入っています。どこを走っても森林浴をしている感じ。国境マラソンももちろん

出場しましたよ！有明山や白嶽の登山も気に入っています。

ジェシー

魅力が多すぎて何から話してよいかわからないくらい(笑)。この前、厳原町上山のホタルを見にいってきました。静けさと自然の美しさは素晴らしいかったですね。長崎のランタン祭りは賑やかで楽しいけれど、万松院の灯籠祭りは静かで、神秘的で、言葉にできないくらい美しいです。静かな中で対馬物語の宗家の歴史を考えながら見ると感動します。

“対馬”は、おいしい!!

村田

対馬に来るまでは魚介類はどこで食べても同



バク  
クワンソウ  
朴 光燮さん

大韓民国慶尚南道晋州出身。(株)ジャパン大亜勤務。2010年から対馬在住。大学で日本語を学び、東京での留学経験もある。趣味はジョギング。

じと思っていたんですが、対馬に来てその美味しさに驚きました。私が住んでいた東京で食べているものとは全く違うんです。

ジェシー

Gカフェが大好きです(笑)。対馬バーガーも大好きで、ほとんど毎週食べに行っていました。イカとヒジキが入っているのが美味しいです。「どげえ市」でお酒を呑みながら対馬の音楽家と知り合えるのもすごく楽しかったです。

周

私は食べることが一番好きです(笑)。対馬のかすまきやお魚などどれも美味しくて最近は大変気味です(笑)。上海ではこんな美味しい魚は食べられません!!対馬の郷土料理講座にも行きました。「ろくべえ」は、見た目に抵抗があつてちよつと無理だったけど、「せんだんごの蜜かけ」はとても美味しく大好きになりました。

朴

東京に留学中から牛丼が大好物なんですけど、対馬には牛丼屋さんがないのが残念…。今は、カツ丼が気に入っています。韓国からの観光客が食べたいと思っているものの定番は寿司と刺身です。対馬の新鮮な魚は最高です。回転寿司があればもっと喜ばれます！

大西

私は「いりやき」という食べ方が素晴らしいと感じています。一匹のお魚を刺身に、アラは鍋にして季節の野菜を入れ、土地の醤油を使う。最後には、そばやろくべえを入れて完結する。



ジョウ  
ユエ  
周 悦さん

中華人民共和国上海市崇明県出身。大学で日本語ビジネスを専攻した経験を活かし、今年4月から対馬市国際交流員として勤務。先ごろ行われた対馬市と崇明県との友好関係締結式では通訳として活躍。

おもてなしの心が、対馬全体が、鍋の中に入っています。無駄にしない食べ方や、男性・女性・子どもみんなが食べられるという文化がいいですね。私自身、お客さんには手作りのいりやきでおもてなしすることが多いです。

対馬でやってみたいこと、  
できたらいいなって思うことは？

朴

トライアスロンやサイクリング大会はどうでしょうか？海・山・自然、トライアスロンとしてのステージは素晴らしいと思います。釜山の人たちはトライアスロンが好きなので、やればもっと交流できると思います。

むらた まや  
村田 真耶さん

東京都武蔵野市出身。高校・大学時代をアメリカで過ごし、「対馬市島おこし協働隊」として昨年4月に対馬へ。デザイナーの傍ら通訳や翻訳の仕事をごこなす国際派。



ジェシー

サーフィンをやったらどうでしょう？阿連の白浜や茂木浜、小茂田浜などは波がいいと聞きました。観光も賑わうし、自然を守ることもつながるのでは？

周

対馬の海のその美しさに感動したのですが、海のそばに露店がありませんでした。中国では、食べものや、水泳用具のレンタルショップなどがあり、夜のビーチで海鮮料理を食べながら夜景を見ることを楽しめます。

大西

韓国と日本の国境で「国際映画祭」のようなものもいと思います。交流とともに「本物」に出会えるから…。

私はこの寺で「地域で子育てを楽しむ会」を

通して出合いの場を作りたいと思っています。歌手をよんだり、空手の先生に来ていただいたり、郷土料理に挑戦したり…。「本物」に出会う感激、感動を子どもたちに提供していききたいですね。

ジェシー

大西さんたちがやっている活動は本当に素晴らしいです。ハロウィンパーティーと一緒にやりましたが、子どもたちと一緒にパーティーをつくりあげるのが楽しかった。私もこの寺でウクレレコンサートをしました。

周

探鳥会に参加したのですが、ほんとに素晴らしい！中国ではなかなか体験できないことです。いろんな人と友だちになってコミュニケーションもでき、その上、知識が身につく、自然を大事にしようという気持ちにつながるんです。

そうそう、対馬には、無料の公民館講座があって素晴らしいと思います。人との出合いや技術を身に付けられますよね。

村田

島おこし協働隊員も公民館講座を開催し、私はALITと一緒に英会話講座を行いました。

毎週レッスンを企画するのは大変でしたが、受講生の皆さんが本当に真面目に取り組んでいただいたので、やりがいがありました。

今、協働隊員は、新商品開発を始め、さまざまな業務に取り組んでいます。私達の活動を市

民の皆さんにご理解いただいで、サポートを得られるような体制を作っていけたらと思っています。

これからの対馬に望むこと…

周

対馬の子どもたちは、自然に「こんにちは」って言えます。それは素晴らしいことです。対馬は地理的には韓国から近いですが、姉妹縁組により中国とも近くなるので、子どもたちもどんどん国際人になれるといいですね。その意味でも、私は対馬の力になりたい。一緒に世界に向かって仲良く進んでいきたいです。



フィッシャー ジェシー ライアン  
Fisher Jesse Ryan さん

アメリカ合衆国ハワイ州マウイ島出身。今年7月までの2年間、ALIT（英語指導助手）として活躍。積極的に地域に溶け込み、市民劇団公演など様々なイベントに参加。惜しまれながらハワイへ帰国。

## ジエシー

私は、7月いっぱいに対馬を離れます…。

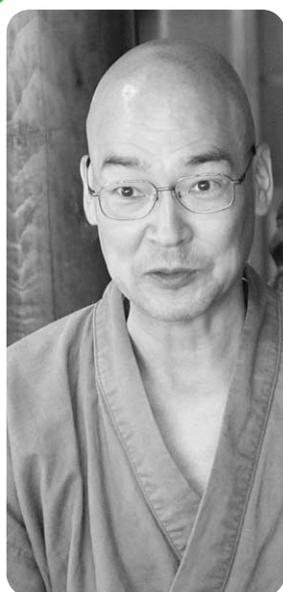
対馬はいろんなチャンスに恵まれています。特に国境ということ、外国の友だちも大事に、そして国際的な感覚を身につけてほしいです。それと、「海道Tシャツ」に書いてある「ずんだれ」さを大事にしてくださいね！

## 村田

まずは「ありのままの対馬の魅力」を知ってほしいですね。厳原に住んでる人が上対馬のことを知らないとか、上対馬の人は厳原より南の方に行ったことがないとか、よく耳にします。住んでいる島のことを知らないなんてもったいない！まず知ることが一番大事です！

## 朴

この対馬の自然に合う観光振興で、島の外に



おおにし しんしょう  
大西 真祥さん

大阪府大阪市出身。高野山寿福院（厳原町久田道）住職。24年前に来島。「地域で子育てを楽しむ会」のメンバーとして、寿福院を会場に子育て交流活動を行っている。

出た子どもたちが将来戻ってきて、対馬が発展する形になるのがいい。韓国の済州島は、その景観の美しさから中国などからの観光客で賑わっていますが、最初はそうではありませんでした。もともと素晴らしい環境があるのだから、ちよつと角度を変えてみたらできるはずですよ。

対馬の人と対馬を訪れる外国人が、お互いに理解しあいながらやっていきたいと思っています。

## 大西

お年寄りが大事にしているものをしっかりと見て学んでほしいですね。そこには対馬の人が対馬の自然を残した知恵がある。よそから来た人が見て良い所だと思うのは、人間が残してきた努力であり、それはお年寄りが残してきた生活習慣や言葉の中にたくさんあります。私たちは新しいものを求めすぎて、ついついそれを忘れてしまいがちです。

ヤマネコが生きる環境があるなら、住む人の心にもヤマネコが住める心があると思います。対馬の人が持っている自然や人を大事にする素朴な心を、私は信仰という形で大切にしていきたいと思っています。

今日のようにいろんな所から来た方々と対馬の人が出会えることが財産。異文化交流ができるって本当に素晴らしいことなんです。過去や歴史を大切にしながら出合いを楽しめる対馬になったらいいですね。



“対馬に無いもの”はたくさんあります。しかし、“対馬にしかないもの”“溢れすぎて気づいていないもの”“外の人がうらやましくなるような魅力”を、私たちは見過ごしてはいないでしょうか？

「無いものねだり」の時代は、終わりました。「あるものを再発見し、その魅力を磨く」ことが、グローバル化する世界で対馬が生きていく唯一の方法だと考えます。

あなたの足下に隠れている“対馬ならではのいいもの”を、もう一度探してみませんか？